

公募要領の概要(案)

【応募資格】

応募者は、次のいずれかを満たす者とし、日本での法人格又は支店を有し、ホームページ・パンフレット等で事業内容について確認できる者とする。

- ① 自車位置測定技術を開発又は製造している民間企業
- ② 自車位置測定技術を販売しており、かつ技術的な問合せに対応できる民間企業
- ③ ①又は②を代表とする企業共同体

【応募要件】

応募者は以下の要件を満たすこと。

(1) 自車位置測位技術の要件

実証実験の対象とする自車位置測位技術として、以下の要件を満たす技術を提供できること。

- ア) 乾燥路面において、車両に取り付けたGPS、レーダーセンサー、カメラ等で、自車位置を精度よく測定（誤差±50cm）した実績を有するもので、空港除雪の自動化で効果が期待できるもの
- イ) 測定した自車位置を車載のモニター上に表示し、運転者が認識できるもの

(2) 実証実験計画の要件

- ① 実証実験場所（新千歳空港 制限区域内のエプロン※¹（駐機場）の一部エリア、広さが約20,000㎡（200m×100m））において実施可能な計画を立案できること。（詳細の場所は、空港の運用状況に応じて調整予定）

※¹ エプロン内の作業は、空港管理者と調整の上、実施すること。

- ② 実験に使用する機材の設置は、車両に穴あけ等の加工を要しない方法で計画を立案できること。

【実証実験計画】

実証実験の応募者には、下記の項目に関する実験計画書を申請いただく。

1. 応募者について

- (1) 名称
- (2) 代表者
- (3) 所在地
- (4) 担当者名
- (5) 担当者の所属組織・団体
- (6) 担当者連絡先
(電話番号、FAX番号、E-mail)

2. 応募資格について

- (1) 該当する応募資格
- (2) 事業内容

3. 応募要件について

- (1) 自転車位置測定技術の方式
- (2) 自転車位置測定技術の詳細
(過去に実証実験等を実施している場合には、その内容を記載すること)
- (3) 実験に必要な装置（車載装置等）、
設置方法、設置場所

4. 実証実験計画提案

【費用】

実証実験に要する下記①②の費用は、合計金額で実証実験参加者1者あたり100万円（税込み）を上限として、航空局で負担する。ただし、実証実験参加者が多数となる場合は、負担額を変更する場合がある。

- ①自転車位置測定技術の実証実験に必要な機材の使用に係る費用
- ②航空局が準備した車両に必要な機材を設置、調整及び撤去するための費用